



## &lt;経営理念&gt;

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つすべての能力を、共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理原則にのっとなって対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

10月迄業績	計画	実績	差異	%	昨年比	%	12月迄成り行き	昨年度実績
売上	341,975	330,838	-11,137	96.7%	6,710	102.1%	399,146 万円	393,179 万円
営業利益	10,372	11,272	900	108.7	-3,502	76.3	13,843(3.47%)	17,956(4.57%)

## &lt;売上好調にて営業利益も黒字確保

## ／営業による値上げ効果も期待&gt;

11月の半ばを過ぎ、朝晩の冷え込みも強くなっているように感じます。多少落ち着いていた新型コロナウイルス感染症は、ここにきて明確に感染者数が上昇し、第8波を迎えています。ヒロハマでも感染ケースが少しずつ増えてきていますが、インフルエンザと併せて感染しますと重症化リスクも高まるという情報もありますので、各自にてワクチン接種を積極的に実施頂くようお願いいたします。(千葉工場、大阪工場では例年通り、集団でインフルエンザ予防接種を完了しました)

さて、10月の実績ですが、まず売上ですが輸出分が健闘し、計画対比1,314万円増となりました。市況の回復は未だ停滞感がありますが、本格化している観光業などに期待を寄せているところです。ここでも新型コロナ第8波の影響が懸念されますが、景気うんぬんで業績が凹まないよう全社で取り組んできた成果が出ており、営業利益は計画対比532万円増の結果でした。次月11月からは東西営業による「販売単価の値上げ効果」を100%見込んでおり、良い形で年度末に繋げていきたいと思っております。

## 【全社品質目標の達成状況】

安全第一 労災事故0件：2022年度は累計3件。10月末時点で千葉にて62日間、大阪にて31日間、労災事故ゼロ継続中。

品質クレーム：全社年間22件以内の目標に対し、累計で23件(内社長預かり分2件)。今月発生は千葉社内1件・社外2件、大阪社内1件。大阪工場の社内クレームゼロ行進は15ヶ月連続で途切れました。クレームが出てしまったことが残念ですが、15ヶ月連続ゼロは誇って良い記録です。新たなスタートを切り、更に記録を伸ばして欲しいと思っております。

納期遅れ：なし(PS八街でトクリ不具合停止にて納期綱渡り中)

コストダウン:10月計画437万円⇒実績532万円(121%・累計126%)

新規品売上:10月計画889万円⇒実績1,542万円(173%・累計121%)

10月単月 (単位:万円)	売上		営業利益		営業利益累計	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
東京営業所	22,337	24,614	555	2,181	5,269	9,123
千葉工場	21,079	19,509	481	-310	4,757	3,123
大阪営業所	13,484	12,521	74	670	813	2,281
大阪工場	10,439	9,671	94	-804	-467	-3,254
全社	35,821	37,135	1,204	1,736	10,372	11,273

## &lt;時代に取り残されない取組みを

## ／ヒロハマはこれからも変化していきます&gt;

今年度に入り、ヒロハマは「定年65歳制」をスタートしました。熟練の年代の皆さんが今後も長くご活躍頂けることを期待しています。この変化に併せて「治療と仕事の両立」という観点でも、何かできる配慮はないか、2023年度の経営基本方針に追加する予定です。これまでの定年60歳を65歳に引き上げるという事は、より高齢の方が在職されるという事ですから、病気とお付き合いしながら仕事を両立させる難しさも出てくるかもしれません。そのようなリスクに前もって対応したいと考え、現在様々な切り口から検討しております。もちろん、若年層の方でも病気療養になる方もいらっしゃいますので、全社的にプラスの側面ができればなによりと考えています。ヒロハマでは、このようなプラスの変化を今後も意欲的に進めていきたいと考えています。「給与明細のWEB化」もそのひとつで、皆さんにはご協力頂き感謝しています。変化の理由は法的・効率化・予期せぬアクシデントなど色々ですが、その都度必要な対話・コミュニケーションをもって変化を進めていく事で、皆が不安なく対処できるのだと思います。これは人と人、部署と部署、どの場面でも共通しますので大切にしていきたいと思っております。

11/22 廣濱 庄一郎

## &lt;人を生かす経営&gt;(4)

## 【1】独立自尊(4)

## (2)自分を決して貶(おとし)めない(2)

## 自分の素晴らしさ・恵まれていることに目を向けよう

私たちに、それぞれ個性があります。自分の欠点が気になって仕方がない人もいるかもしれません。でも同時に長所も沢山あるのが普通。さらに「恵まれていること」という点でいえば、どれほどあるか分からないほど沢山あるはずですよ。

私事になりますが、毎年、正月には「今年の計画」を立てています。その前段でいろいろなことを分析するのですが、その中に「人より優れていること・恵まれていること」を書き出すようにしています。書き出してみると分かるのですが、そのほとんどが自分の努力によるものではなく、世の中や両親から授かったものばかり。感謝しかありません。こんなに恵まれているのだから、決して自分を貶めるようなことはあってはならない。そう強く感じます。

これを無駄にしては申し訳ない。最も良い形で世の中にお返ししていこうという思いで、その年に何をすべきか、という計画を立てていく

のです。

こうして立てた計画は、誰かから言われたものではないし、こうあるべきだという義務感から来るものでもなく、こうありたいという自らの意志に基づくものですので、取り組む意欲も旺盛です。是非、皆さんも取り組んでみて下さい。

## 平均レベルを上げよう

自分を決して貶めない、と思っけていても、やはりお互い人間ですので、毎日の暮らしの中では「聖人君子」のように生きている訳にはいかないのが普通。喜怒哀楽もあり、全くやる気が起こらない時もあり、心配事があって何も手につかない時もあります。夜中までゲームに没頭してしまったり、なんてこともあるかもしれません。

そうしたことが全く無いようにすることは難しいかもしれませんが、ずーっといわゆるズッコケたままでいい訳ではありません。やはり、「自分を決して貶めない」という自戒の念を持って、より素晴らしい人生を生きようと前向きに努力していく自分に立ち返ることは必要。自らの生きる姿勢の平均点は上げていこうという気持ちは常に持っていたいものです。

11/24 廣濱 泰久